

大分県南部圏地域公共交通網形成計画の概要

計画の目的

自家用車の普及や人口減少に伴い公共交通の利用者が減少するなど、バスをはじめとする公共交通を取り巻く環境は厳しさを増す一方、高齢運転者による交通事故の増加やインバウンド旅行者の増加等を考慮すると、安全・安心でだれもが利用できる公共交通の果たす役割は大きく、都市軸と拠点のネットワークを圏域として確保・維持することは、移動弱者を含むすべての人の移動と、人の活動によって生み出される地方の活力を維持するために必要となっている。

このため、合併前の旧市町村間をまたいで運行されるバス路線が多く存在する南部圏を対象として、持続可能な公共交通網の構築を目的とした「大分県南部圏地域公共交通網形成計画」を策定する。

計画の対象地域

- ・ 佐伯市、津久見市の2市域を対象とする。

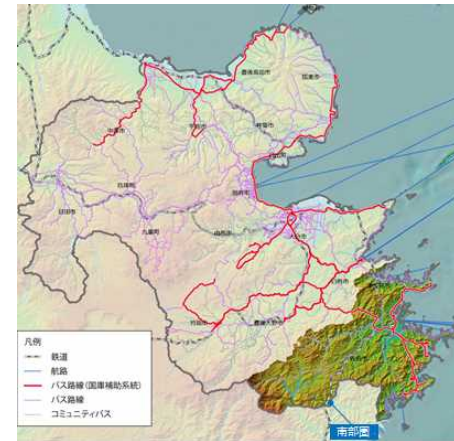
(基礎データ：平成28年10月1日現在)

人 口：88,662人

面 積：982.59平方キロメートル

過疎地域等指定：過疎、離島、山村等

高齢化率：38.5%



計画の概要

基本方針1 だれもが安心して生活できる移動環境の創造

基本方針2 効率的で持続可能な都市圏の構築

基本方針3 交流促進による地域活力の維持・向上

公共交通ネットワークの形成方針

市町村との連携のもとで、大分県の生活や経済活動の基盤を支える公共交通ネットワーク

計画目標1

まちづくり・観光・教育政策及び市町村と連携した「軸」と「拠点」の設定により住民の円滑な移動を支える公共交通ネットワークの構築

計画目標2

公共交通の維持に向けたネットワークの再構築及び運行水準の適正化

計画目標3

モード間の連携強化により圏内外を有機的につなぐ広域交通ネットワークの創出

計画目標4

国内外からの観光ニーズに対応した公共交通利用環境の整備

計画目標5

新たな公共交通利用者の確保に向けた利用促進